

令和3年度版

グループ研究会の活動



一般社団法人
広島県中小企業診断協会

目 次

1. 会長挨拶 『グループ研究会活動の活性化に向けて』	・・・1
2. 広島県中小企業診断協会ホームページの研究会連絡窓口	・・・2
3. グループ研究会入会および新規設立方法のご案内	・・・3
4. 各研究会紹介	
① ISO研究会	・・・4
② 建設業研究会	・・・5
③ 販路開拓研究会	・・・6
④ 企業内診断士診断能力向上研究会（企業内診断士の会）	・・・7
⑤ 海外展開支援研究会	・・・8
⑥ ニューロビジネス研究会	・・・9
⑦ 資金繰り表研究会	・・・10
⑧ 原価管理研究会	・・・11
⑨ 事業承継研究会	・・・12
⑩ 企業再生実践研究会	・・・13
⑪ カーブを科学する研究会	・・・14
⑫ 地域活性化研究会	・・・15
⑬ リスクマネジメント研究会	・・・16



会長挨拶 『グループ研究会活動の活性化に向けて』



一般社団法人広島県中小企業診断協会会長の江川 雅典です。

当協会は、経営コンサルタントの唯一の国家資格である中小企業診断士の会員による専門家集団です。中小企業診断士の業務は、中小企業支援法で「経営の診断及び経営に関する助言」とされ、「現状分析を踏まえた企業への有用なアドバイス」を信条に、その知識と能力を活かして幅広く活躍しております。

さて、今年に入り、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が始まったとはいえ、未だ抗体保有者が少なく依然として厳しい状況にあるなか、人の往来にも多くの規制がかけられるなど、自由な経済活動もままならない状態が続いており、体力を失い始めている中小企業も増えてきています。

また、緊急事態宣言の解除後も感染拡大の防止策を講じつつ、経済活動との両立を図っていくことが求められる環境下において、中小・小規模事業者や個人事業主にとってもアフターコロナを見据えた事業活動の変革が急がれるなど、課題は山積しています。

そのような中で、中小企業診断士には、専門的知識の活用とともに、企業と行政、企業と金融機関等のパイプ役、中小企業施策の適切な活用支援まで、幅広い活動に対応できる知識や能力がこれまで以上に求められているところです。

グループ研究会は、その研究活動の推進を通して、会員の企業診断、中小企業支援事業等に係る技術・能力の向上を図り、中小企業経営への高度な革新支援ならびに地域産業・経済の活性化に寄与することを目的としており、本部・県協会として積極的に活動を支援しています。インセンティブとして次のものがありますので積極的なご活用をお願いします。

- ・県協会「診断ひろしま」や協会本部「企業診断」への研究成果の掲載
- ・協会本部の「調査研究事業」への応募・採択による、活動の助成や優秀事例の協会シンポジウム（東京）での発表
- ・調査研究補助事業費の支給（令和3年度は各研究会に計42万円支給予定）
- ・中小企業診断協会の中国ブロック会議などを通じた、他県協会の研究会との交流
- ・研究の成果を活用した企業、行政その他の団体からの研究事業その他事業の受注

新たな研究会を設立したいという場合には、テーマ型の短期間の研究会を含め、3名以上の会員で「研究会設立届」を提出していただければ、設立が可能です。

多くの会員が研究会活動に参加され、自己研鑽やネットワークの拡大に取り組んで頂きますよう期待しております。

最後になりますが、中小企業支援機関や経営者の皆さまで、専門分野の研究を活かしたセミナーや支援等のご希望がありましたら、当協会ホームページの研究会連絡窓口（次ページ参照）からお気軽にお問い合わせいただければ幸甚に存じます。

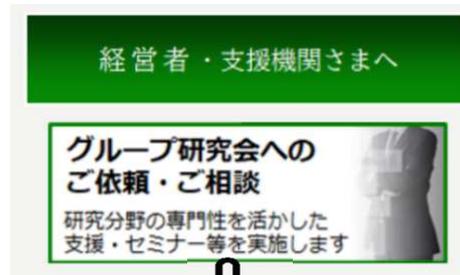
広島県中小企業診断協会ホームページの研究会連絡窓口 《中小企業経営者・中小企業支援機関ご担当者さまへ》

当協会のグループ研究会では、研究分野の専門性を活かした経営の診断や助言をはじめ、セミナー・研修会等を随時実施しております。

協会ホームページ上にグループ研究会へ直接連絡可能な「ご依頼・ご相談窓口」を設置しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

(注) 報酬その他要件は、研究会「ご依頼・ご相談窓口」へ直接メールでお問い合わせください。

なお、ご依頼・ご相談にかかる一切の行為について、(一社)広島県中小企業診断協会は、何ら責任を負うものではありませんので予めご了承ください。



グループ研究会入会および新規設立方法のご案内

○グループ研究会入会方法

- グループ研究会に入会を希望される方は、次頁以降記載の各研究会連絡先まで直接お申し込みください。但し、入会は、原則として、（一社）広島県中小企業診断協会の会員（正会員・準会員・名誉会員・特別会員）に限らせていただきます。

○グループ研究会設立方法

- 新たに会員3名以上からなるグループ研究会の設立をお考えの方は、次の「研究会設立届」を作成し、（一社）広島県中小企業診断協会 グループ研究委員会（jsmecca34@sunny.ocn.ne.jp）までご提出ください。「研究会設立届」様式は、協会HPよりダウンロードできます。
- 1テーマ完結型など、期間を限定した研究会設立も可能です。お気軽にご相談ください。

研究会設立届

一般社団法人広島県中小企業診断協会

提出日	平成 年 月 日			
承認日	平成 年 月 日			
研究会の名称				
役員	代表			
	会計			
	書記			
連絡先	【名前】 【TEL】 【メールアドレス】			
設立時の会員				
主な研究内容				
活動予定日				
備考				

ISO研究会

活動目的	<ul style="list-style-type: none"> ① ISOの認証取得を目指す企業、または認証取得したが経営業績に有効に機能していない企業のコンサルタントに生かせるスキルを身につける。 ② ISO規格要求事項の理解度のアップ ③ プロジェクト管理、経営改善支援の力量アップを図る
代表	栗山 琢次
連絡先	担当者：栗山 琢次 電話番号：082-894-1202； 090-6841-7446 Email：kuriyama-ta@gol.com.
会員数	4名（R3年1月現在）
入会条件 会費等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究会の活動趣旨に賛同し、積極的かつ継続的に参加できる方 ・ ISOシステムを活用した経営支援に興味がある方 ・年会費：無料
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定例会合（日時〔曜日〕・場所） 通常は土曜日 10:00～12:00 活動の頻度：2か月に一度、 場所： 広島県中小企業診断協会 会議室 1. ISO規格の2015年版について <ul style="list-style-type: none"> ・ 2015年9月15日に、より実態に沿ったマネジメントを運用するため9001をはじめとしたISOの規格改定が行われた。この改定で、事業計画との一体的な運用が求められることになった。 ・ 当研究会へは、外部審査機関から診断協会を通じて認証取得及びレベルアップ支援を、要請されている。 2. これまでの活動概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ H19年9月発足の当研究会は、ISO9001,14001規格の勉強会からスタートしエステロン認証審査を行った。 ・ H23は不適合の是正処置としての「なぜなぜ分析」のテキスト、カリキュラム作りと教育・研修会を実施した。 ・ H25は介護・福祉分野企業へのレベルアップ支援、認証取得支援のためのマニュアル他モデル文書作成した。 ・ H27、H28、H29は、2015年版育用マニュアルを作成、審査機関と連携して、ISO9001、2社の新規規格への認証移行を支援した。 ・ H30年、R1、R2年は、経営改善に主眼を置いたマニュアルづくりに取り組んだ。また、西日本豪雨災害に伴う官民挙げての対応のなかで、緊急事態、異常事態へ備えてリスクアセスメントなど必要性が高まっており“リスク及び機会への取組”を深掘りした。 3. 今後の活動予定 <ul style="list-style-type: none"> ①プロセスアプローチの手法を活用する。多岐にわたる業種特有のプロセスを理解し、企業と一体的な活動を進める上でキーとなる活動のプロセスを具体的に把握、理解した上で支援することが極めて重要で、一歩踏み込んだ核心に迫れるマニュアル作りと支援での活用。 ②プロジェクトマネジメントの手法を活用する。中小企業にとってプラスαとなる経営改善、BCP、ISOによる改善などプロジェクト活動を組織的で計画的な改善として根付かせる上でパフォーマンス評価をベースとしたPDCAを回す。中小企業にも取り組みやすい実践的なツール作り、支援業務での事例(成功・失敗)の共有。 ③関連書籍の自由な勉強、まとめ、ズーム会議での発表を組み込み。 ④中小企業、ISO審査機関からの問い合わせ、支援要請への対応。
入会を希望される皆様へ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ISO規格をもとに、事業計画の策定からPDCAサイクルを回し続けられる仕組みづくりの支援をするためのノウハウを研究しています。 ・ グループ員の意見で自由にテーマを決め、診断士としての力量アップを図っている。各種業態、業種のプロセスやテーマに興味のある方の気軽な参加期待しています。

建設業研究会

活動目的	変革が求められる建設関連企業に対し、有益な経営支援に直結するコンサルティングや具体的な実践手法を、グループメンバーで研究・模索する。
代表	柳川 治久
連絡先	担当者：柳川 治久（研究会事務局） 電話番号：080-1904-6492 Email：tonmanana@box.email.ne.jp
会員数	6名（R3年1月現在）
入会条件 会費等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究会の活動趣旨に賛同し、積極的かつ継続的に参加できる方 ・ 年会費：0円
活動概要	<p>1 定例会合（日時〔曜日〕・場所） 日程：3か月に一回程度 場所：広島市内、備後地区でも年1回程度は開催 現在、コロナウイルスの影響で、ズーム会議を2か月に1回、90分間程度開催していません。</p> <p>2 活動内容</p> <p><u>R2年度活動の内容</u> テーマ：建設関連企業を経営支援する際に必要な知識・手法の共有 内 容：①今年度は、会合しての会合ができなかったため、ズーム会議を3回程度の開催するに留まりました。 ②メンバーの経営支援状況の近況報告と担当するメンバーの支援事例の水平展開を中心におこないました。 ③研究会成果物の作成は、一旦中断していますが、来年度以降の課題となっています。</p> <p><u>R3年度活動予定</u> テーマ：診断書や改善計画書作成の際に、有効でかつ建設会社により適切な提案ができるような手引書の整備を目指します。 内 容：①建設会社の元請（官庁工事など）タイプの企業、下請（専門工事業）タイプの企業、住宅建築リフォーム（一般顧客相手）タイプの3類型それぞれに、売上拡大策・利益アップ策・経営基盤強化策などを体系だてて、経営者に訴求できる提案ラインナップを整備したい。 ②国土交通省が推し進める建設会社への事業継続支援事業（事業を継続してゆくために必要とされる事業承継・後継者育成・現場の担い手確保・生産性向上・必要利益確保など幅広い観点での支援）を活用し、モデルケースになりそうな事業者に対しては、建設業研究会メンバーのチーム型支援も検討してゆく。 目 標：近年、実質会員数の減少が目立っています。建設関連企業の経営支援に興味のある新規の会員に対して、魅力のある研究会活動を目指してゆきたいと考えております。</p>
入会を希望される皆様へ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現メンバーは多様で、建設業に詳しい会員から今まで縁の薄い会員まで、幅広く在籍しています。お気軽に研究会事務局にご一報下さい。

販路開拓研究会

活動目的	事業計画の目標達成に向けて、多くの中小企業の隘路となっている販路開拓を、効率的、効果的に支援するノウハウを研究しています。
代表	川上 正人
連絡先	担当者：川上正人 株式会社流通プランニング研究所内 電話番号：082-263-1153 Email：info@dpl.gr.jp
会員数	6名（令和3年6月現在）
入会条件 会費等	<ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓の支援方法を共に考えて頂ける方 ・会員 1 名以上の推薦が得られ、入会されるメリットが認められる方 ・会費 なし
活動概要	<p>■事業目的と取り組み概要 販路開拓研究会は、標準化が難しいとされる支援手法について、調査研究を行うために設立された。会員の中小企業診断士が、新たな視野に立った診断・助言を行い、先進的な診断・助言の専門家として知識を共有し、企業や地域の発展に寄与できるよう、平成 20 年発足以来、以下の事業に取り組んでいる。</p> <p>■研究テーマ 販路開拓には普遍的な原理原則があり、支援に役立つノウハウを蓄積する。 例会での情報交換をもとに、多様な知見を得てスキルアップに努めたい。</p> <p>【実施事項】</p> <p>① 販路開拓に関する調査研究 効率的、効果的に販路開拓を支援するためのノウハウを構築する。過去の支援事例に基づいて、効果的な支援のあり方を研究する。</p> <p>② 販路開拓の支援 これまで培ってきた販路開拓や顧客管理の支援ノウハウを活用し、公的支援機関を通して支援する。</p> <p>■実施予定 取り組み内容は、これまでと同じく「研究会例会」「広島県協会への出稿」とする。</p> <p>(1) 研究会例会 (3 回開催) 多忙な会員が多いため、日程調整がつかない場合は、メール例会とする。 本年度、8 月、12 月、3 月に、メールにより、コミュニケーションの場を増やす。</p> <p>(2) 支部機関紙への出稿 年 2 回協会の発行する「診断ひろしま」に対し、依頼があった場合、出稿する。</p>
入会を希望 される皆様へ	・恐れ入りますが、業務多忙のため本年度は新規会員の募集は行いません。

企業内診断士診断能力向上研究会（企業内診断士の会）

活動目的	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 研鑽 企業内診断士の診断能力等の向上を図る ◆ 貢献 中小企業経営の改善・改革を支援する ◆ 連携 ネットワーク作りを行う
代表	岡本 志朗
連絡先	担当者：岡本 志朗 電話番号：090-4801-5641 Email： shiro-ok@ms3.megaegg.ne.jp
会員数	35名（令和3年5月現在）
入会条件 会費等	本研究会は、広島県診断協会会員であって、本研究会の目的に賛同する企業内診断士の方を入会資格者としていますが、企業内診断士以外の広島県診断協会会員についても本研究会の目的に賛同して頂ける方ならば、入会可能です。なお、会費等は徴収せず、都度、参加者の実費精算としています。
活動概要	<p>（1）本研究会について</p> <p>本研究会は、「企業内診断士診断能力向上研究会（略称：企業内診断士の会）」という名称の通り、副業禁止規定等の勤務先の就業規則や平日の行事参加が困難等の時間的制約などから中小企業診断士としての活動が制限されやすい企業内診断士の企業診断等にかかる能力の向上（研鑽）を図ることを主たる目的としています。加えて、中小企業経営の改善・革新を支援（貢献）するとともに、診断士の活動に必要なネットワーク作り（連携）を行うことも目的です。</p> <p>（2）活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①企業診断技術の研究 会員の有する専門知識や経験等、或いは、企業診断の実例を活用した診断技能・技法の研究 ②最新の業界動向、中小企業政策等企業診断に必要な知識・情報の調査・研究 ③専門家等を招いたセミナー・研修会の開催 ④ネットワーク作り交流会の開催 <p>（3）令和3年度活動計画の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ①月例会合（右写真） 原則として総会および交流会開催月を除く毎月第3土曜日午後15時に広島市内（現在はZoom）にて開催し、諸活動の経過・成果報告および研修等を行うもの。 ②研究活動 (a) グループ研究 (b) 個人研究があり、会員はいずれか、または両方の活動を行う。 (a) グループ研究 … 3名以上の本研究会会員から成るグループによる研究活動。 (b) 個人研究 … 各自が選定した研究テーマについて、個人で、研究活動を行うもの。 ③実務診断 … 随時実施。これまで商店街、飲食業、広告代理店等各種実施。 協会本部プロボノ活動実証実験事業として、平成30～令和元年度および令和2年度に計2件の協同組合診断を実施。 ④セミナー・研修会及び交流会 定期：中小企業診断士理論政策更新研修日に会員およびプロコンとの交流会を開催。 ※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催時期は未定。 随時：他県診断協会会員との交流等を実施。
入会を希望される皆様へ	令和3年度は活動11年目に入ります。現時点、県内外各地から多様な企業に属する35名の会員が、互いの成長に寄与する『互惠理念』のもと、上記活動を活発に行っています。入会ご希望の方はお気軽にお問い合わせ下さい。会合のご見学や、上記交流会へのご参加をお待ちしています。



海外展開支援研究会

活動目的	日本の中小企業が海外展開などの国際化を行う際、予期せぬ多くの問題に直面し、撤退を余儀なくされるケースも少なくない。異文化を克服し、現地で持続的な経営を続けるためには、場当たりの対応から脱却し、確固たる考え方を持って課題に取り組んでいくことが肝要である。この研究会では、様々なケースを調査・分析、助言のためのベースデータを構築し、実際の企業活動のサポートに繋げることを目的とする。
代表	平見 尚隆
連絡先	担当者：平見 尚隆 電話番号：082-424-6841 Email：nhiram@hiroshima-u.ac.jp
会員数	3名（R3年1月現在）
入会条件 会費等	中小企業の海外展開・国際化に興味を持っておられる方 活動費は必要に応じて実費負担
活動概要	<p>中小企業の海外展開は、1980年代後半から増加しつつあったが、バブルの崩壊により低迷、90年代後半には円高を背景に再び増加、その後リーマンショックで再度減少の傾向を示した。近年は大企業の積極的な海外進出に伴い、増加傾向にある。このように、中小企業の海外展開は社会や経済情勢に大きく影響を受ける。また、中小企業が海外展開を行うまでの道のりは決して平坦ではなく、海外展開後も様々な課題が存在すると聞く。</p> <p>一方、昨今の国内の人手不足を反映して、中小企業レベルでも外国人人材を積極的に受け入れようとする傾向がある。この動きに伴い入管難民法の改正も決定され、今後益々外国人人材の日本国内企業での労働が増加すると予想される。この流れの中で日本国内での中小企業の国際化が進んでいく一方、海外展開に向けての一つの布石となるとも考えられる。そこで、本研究会は広島県協会と包括提携を結んでいる広島大学で開催される外国人留学生と地元の中小企業間の交流を促すイベントなどに積極的に参画し、国際化の実態を調査・研究してきている。なお、新型コロナウイルスによる国内の中小企業に対する打撃は大きく、就職に関する不透明感は否めない。当面は、この状況を鑑みながら活動を続けていく。</p> <p>これまでは、「海外展開を行う中小企業のための実践的マニュアルの研究・開発」という形で一般的な海外進出に関する調査研究活動を行ってきたが（報告書という形にまとめ、広島県中小企業診断協会の全会員及び全国各都道府県の診断協会へ配布 - 全部で約220冊、中小企業診断協会の会長賞受賞）、現在は国内での社員の国際化の課題を対象を絞り、外国人人材の就職・定着、国内で働く上での課題についての調査・研究を行っている。中期的な目標として海外展開の視点で作成したマニュアルと同様な実践的マニュアルを研究・開発していきたいと考えている。</p> <p>現在は、広島大学を通じて「ひろしまIT融合フォーラム」へ応募した提案が採択されたため、この研究会活動と歩調を合わせ、月に1-2回程度集まり議論を行っている。場所は、広島大学東広島キャンパスのVenture Business Lab（ただし当面はOn-line）。</p>
入会を希望される皆様へ	会合は不定期に行っております。興味を持たれた方は、事前に上記連絡先までお問い合わせください。

ニューロビジネス研究会

活動目的	<p>商品開発やマーケティングから人工知能（以下 AI）、ロボティクスまで広く脳科学の知見を活用したニューロビジネスが欧米を中心に広まっている。この分野では遅れている日本でも、一部大企業で導入を始めたところもあり、中小企業でも具体的な活用方法について検討を始める時期が来たと考える。</p> <p>中小企業経営支援の多様化を目的に、今後の中小企業におけるニューロビジネスとの係りについて、調査・研究を行う。</p>
代表	西村 英樹
連絡先	担当者 西村英樹 電話番号 080-1915-4308 Email : kyupi@amber.plala.or.jp.
会員数	19名（R3年6月現在）
入会条件 会費等	興味を持ち、主体的に活動できる方 ・ 活動費は必要に応じて実費負担
活動概要	<p>研究会では会員だけではなく、AIに関心を持つ中小企業経営者（ユーザ、ベンダー）をメンバーに加え、中小製造業が抱える経営課題に対して、AIを活用する具体的な方法についての調査研究を行っている。</p> <p>研究会メンバーが代表となり広島サンドボックス事業へ応募した「つながる中小製造業でのスマートものづくり」も終了した。この事業で得られた知見を基に今後本格化してゆく企業のDX活用を広く支援できる活動を行うとともに、他県協会のAI、IOT研究会等とも連携した活動を行う予定である。</p> <p>活用支援</p> <p>（1）情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究会活動で蓄積された知見に基づき、AI関連書籍を出版する。 ・セミナー等を通じて、中小企業におけるAI活用方法等についての情報提供を行う。 <p>（2）AI活用に関する調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造現場におけるAIの具体的な活用方法について調査研究を行う。 <p>（3）関係機関との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政、大学、中小企業関連団体等との連携を強化し研究活動を促進させる。 <p>（4）会合場所等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会合は毎月第3土曜日午前広島市内を中心行う予定。
入会を希望される皆様へ	担当までご連絡下さい。

資金繰り表研究会

活動目的	多くの企業様に「精度の高い資金繰り表」の導入・継続作成・管理する事を促し、資金繰りの安定・業績を上げる支援を行う。
代表	大村 貞之
連絡先	担当者 大村 貞之 電話番号：084-939-5523 Email：syo88@iaa.itkeeper.ne.jp
会員数	15名（R2年12月末現在）
入会条件 会費等	<ul style="list-style-type: none"> ・研究会の活動趣旨に賛同して頂ける方。 ・無料
活動概要	<p>企業様が精度の高い資金繰り表を、①導入する事。②継続して作成する事。③効果的に管理する事。について、セミナーや個別企業支援を通じて支援し、企業様の業績アップに貢献する。</p> <p>R2年度活動予定・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ①資金繰り表の作成方法等研究成果のホームページ公開（公開中） （資金繰り表の作り方、資金繰り表とは・メリット、ルールの確立、作成手順等、当研究会の研究成果を公開する事で、資金繰りで困っておられる企業様に貢献する。） ②資金繰り表操作説明資料の完成（完成） ③セミナー開催（会員研修会にて「緊急支援の第1歩は資金繰り表の作成から」開催 R2.8.22 →一定の評価を得た） ④「日繰り表」のフォーム・統一ルール・マニュアルの作成（フォーム・統一ルールは完成） ⑤個別企業様支援（面談支援に加え、オンライン支援の充実等）（未達成） ⑥資金繰り表の効果的活用により、長期的にキャッシュフローの向上を図る手順の追及。（未達成） <p>R3年度活動予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ①セミナー開催（金融機関等、中小企業支援機関向けセミナーの確立） ②「日繰り表」のマニュアルの作成 ③個別企業様支援（面談支援に加え、オンライン支援の充実等） ④資金繰り表の効果的活用により、長期的にキャッシュフローの向上を図る手順の追及。
入会を希望される皆様へ	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年4月よりスタートの研究会です。 ・平成29年6月より、随時、開催中です。
公開資料について （補足説明）	<p>➢資金繰り表エクセルフォーマットを更新し、再度公開しました。（R元年12/25）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このフォームは月次資金繰り表で、収支計画・売掛等入金・買掛等支出・製造経費・販売管理費・財務収支と連動しています。比較的早く簡単に作成できるよう工夫しています。計画の隣に実績を入力できるので、予実管理もできます。資金繰り表のひな型として、ご活用頂きたいです。 <p>➢新型コロナウイルスの感染拡大により、資金繰りで困っておられる企業様に向け、以下の研究成果を公開しています。（R2年4/16）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①資金繰り表の作り方 <ul style="list-style-type: none"> ・資金繰り表の作り方の操作説明資料の一部を抜粋したパワーポイントです。動画になっていますので、スライドショーを実行して頂くと操作方法が分かりやすいと思います。 ②資金繰り表とは、資金繰り表のメリット <ul style="list-style-type: none"> ・資金繰り表とは何か、そのメリットは何かをまとめています。{借入の際だけ金融機関に提出するのではなく、継続的に実績管理・再作成する事で、長期的に見てキャッシュフローの向上（付加価値の向上・業績の向上）が図れます。} ③資金繰り表のルールの確立 <ul style="list-style-type: none"> ・資金繰り表は、見方は簡単だが作成するのは意外と難しいと言われる人がありますが、それは、ルールが様々で確率されていない事が一因です。根拠あるルールを示しています。 ④資金繰り表の作成手順 <ul style="list-style-type: none"> ・当研究会の資金繰り表フォームでの作成手順を示しています。必要なものが揃っていれば、早ければ1時間で作成できます。

原価管理研究会

活動目的	中小企業全業種に導入可能な「原価管理システム」の構築から運用までのノウハウを習得し、システム活用によるコンサルティング技法を調査研究する。
代表	増田 宣彦
連絡先	担当者：野崎 義博 電話番号：090-7595-2554 Email： nozaki-y@eos.ocn.ne.jp
会員数	20名（R3年6月現在）
入会条件 会費等	<ul style="list-style-type: none"> • 研究会の活動趣旨に賛同する者 • 年会費 0円
活動概要	<p>1 活動方法</p> <ul style="list-style-type: none"> • 定例会合：情報交換等 • 実地研修：企業訪問等 <p>2 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> • 利益を生み出すコスト管理の手法（座学） • 建設業の原価管理の導入事例（実践） • 製造業の原価管理の導入事例（実践） • その他業種の原価管理の導入事例（実践）
入会を希望される皆様へ	<ul style="list-style-type: none"> • 連絡先担当者へご一報ください。

事業承継研究会

活動目的	事業承継は企業が継続するために避けられない課題であり、「経営承継円滑化法」など国の施策でも集中的に措置が図られている。当研究会では事業承継計画の策定や、その実行支援、問題解決等について、中小企業診断士が果たす役割とスキルの向上を目指す。
代表	植田 昌子
連絡先	担当者 植田 昌子 電話番号：090-7590-1328 Email：masako4@outlook.jp
会員数	23名（R3年6月現在）
入会条件 会費等	研究会の活動趣旨に賛同し、テーマに関心をお持ちの方 福山市で開催しますが、定例会は Skype でのオンライン参加も可能です。 年会費：無料
活動概要	<p>1. 活動の趣旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深刻化する事業承継問題に対する事業承継支援と問題解決のスキルを研究し、中小企業診断士が事業承継のコンサルタントとして果たす役割の向上を図る。 <p>2. 令和2年度活動実績</p> <p>①事業承継事例研究 月1回の定例会において出題される事例問題について、ディスカッション形式で解決策を探る。各会員の経験・実績と得意分野を生かした深い意見や提言を学びあうことで、事業承継問題解決への対応力向上を図る。</p> <p>②事例紹介・検証 会員が担当する案件について、守秘義務の範囲内で紹介。課題の抽出や解決策の提案、意見交換を行う。</p> <p>3. 令和3年度活動予定</p> <p>①定例会（毎月1回） 日時：第2土曜日 10：00～12：00 場所：福山市内 ※新型コロナウイルス感染症対策の必要性がある場合は web で開催 今後もリアル会議と web 併用での実施を予定</p> <p>②事業承継事例研究 ③事例紹介・検証</p> <p>これまでにも、実際の企業へ向けたセミナーの開催や、事業承継診断と提言の実施も行っており、今後も知識・スキルの習得と併せ、リアルな活動を行う機会も考えています。</p>
入会を希望される皆様へ	設立4年の研究会です。備後地区だけでなく広島市内からの参加者も半数を占めていますので、関心のある方、ぜひご連絡ください。

企業再生実践研究会

活動目的	<ul style="list-style-type: none"> • 事業再生支援の現場で実践できる知識、スキルを研究し習得すること。 • 事業再生にも寄与できる中小企業診断士を育成すること。
代表	岩本 亨
連絡先	担当者：岩本 亨（企業再建・承継コンサルタント協同組合 中国支部長） 電話番号：090-3902-6778 Email：iwamototooru@gmail.com
会員数	6名（令和3年1月現在）
入会条件 会費等	<ul style="list-style-type: none"> • 事業再生を実際に支援したい意欲をお持ちの方 • 会員1名以上の推薦が得られ、入会されるメリットが認められる方 • 会費 なし
活動概要	<p>■事業目的と取り組み概要</p> <p>最近については特にコロナ禍の影響を受ける等で、経営危機にある企業を再建するために、中小企業診断士として当該企業に、また当該企業が借入をしている金融機関にどのように対応すべきか等々、現場で実践できる知識、スキルを研究し習得する。これにより事業再生にも寄与できる中小企業診断士を育成する。</p> <p>■研究テーマ</p> <p>事業再生支援には原理原則がある。特に私的整理についての知識をしっかりと持たなければ我流の支援になってしまう。それを踏まえて実践的な支援に役立つノウハウを蓄積する。例会での情報をもとに、多様な知見を得てスキルアップに努めたい。</p> <p>【実施事項】</p> <p>③ 再生支援についての基礎知識の習得⇒今期については「事業再生アドバイザー講座」テキスト（銀行研修社）を参考書として活用。</p> <p>④ 再生支援についての事例研究、ノウハウの共有</p> <p>⑤ 再生支援について官交換庁・公的機関・商工団体等との連携の模索</p> <p>■実施予定</p> <p>「研究会例会」を中心に関連する活動についても可能な範囲で活動することとする。</p> <p>（1）研究会例会（6回開催） 原則偶数月の第一土曜日午後</p> <p>（2）支部機関紙への出稿 年2回協会の発行する「診断ひろしま」に対し、依頼があり対応が可能な場合、出稿する。</p>
入会を希望される皆様へ	<ul style="list-style-type: none"> • 代表の岩本宛ご連絡を頂ければと思います。よろしくお願いいたします。

カープを科学する研究会

活動目的	<p>リーグ3連覇を達成したカープ球団は、個性あふれる選手の活躍や BBQ も楽しめるユニークな球場、カープ女子をはじめとするファンの広がり等により、ここ数年世間の注目を集めています。華々しい選手の活躍やマスコミ報道の裏には、豊富な経営資源を有する他球団には無い地方球団としての知恵を使った球団経営があることを忘れてはいけません。</p> <p>独自の歩みを進めるカープ球団を中小企業診断士の立場から科学的に研究し、ファンを魅了し、応援したくなる秘密に迫ります。研究成果は地域における中小企業経営支援に役立てていきたいと考えます。</p>
代表	西村 英樹
連絡先	担当者 西村英樹 電話番号 080-1915-4308 Email : kyupi@amber.plala.or.jp.
会員数	12名 (R3年6月現在)
入会条件 会費等	興味を持ち、主体的に活動できる方 活動費は必要に応じて実費負担
活動概要	<p>(1) 個人研究 会員がそれぞれ関心を有するテーマについて調査研究を行い、その結果を研究会で発表する。テーマによっては、グループ研究も行う事とする。 現在グループ研究としてプロスポーツ選手（特にプロ野球）のデュアルキャリア支援について研究中。</p> <p>(2) 情報発信 研究成果は、診断協会内で共有するとともに外部に対しても積極的に情報発信を行う。</p> <p>(3) 会合場所等 毎月第3土曜日午前10時よりリモート会議を開催。</p> <p>(4) その他：研究会参加者は、必ず“赤いもの”を身に着けること。</p>
入会を希望される皆様へ	担当までご連絡下さい。

地域活性化研究会

活動目的	人口減少・少子高齢社会が急速に展開する中で地域経済社会の疲弊を改善するには、地域のコアメンバーである中小企業・零細企業・個人事業主の成長戦略が必要です。そこで、中小企業診断士を中心として、各自治体・NPO法人・企業に対して経営理論とその効果的な応用により、それぞれに対して、有益な提言・セミナー開催等により、地域活性化に向け貢献すべく、鋭意研究活動や識者を招いての講演会などを開催します。
代表	児玉 忠則
連絡先	担当者 児玉 忠則 電話番号090 - 7374 - 1811 Email : kodamakeiei@hi3.enjoy.ne.jp
会員数	8名 (R3年1月現在)
入会条件 会費等	地域活性化・地方創生に関心をお持ちの方、会費ゼロ円。尚、講師招請など、必要に応じて、実費分担も想定。
活動概要	<p>1. 研究会発足を広くアピールする一当面、TEL・メールにて対応 ・対象先：今治市・竹原市・広島市・福山市・安芸高田市・三原市・尾道市産業振興課などへの提言。 既に「空き家の利活用による地域活性化対策」を提言済、そのフォローアップを行う</p> <p>2. 識者へのアピール、賛同を得て、支援を乞う：金融庁及び金融庁アドバイザーからも期待していますとのメールを受診済み</p> <p>3. 国立山形大学工学部大学院（MOT）に対して共同研究・提携を提言—2019年9月、説明型訪問済み、前向きに検討したいとの事。これのフォローアップを計る。</p> <p>4. JR ローカル線廃線問題、芸備線が通る関係市長あてに、廃止回避の方策を提言 2021.6。</p>
入会を希望される皆様へ	担当までご連絡下さい。

リスクマネジメント研究会

活動目的	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントとBCPを研究 ・リスク啓発とその対策として損害保険の活用を研究
代表	三村（みつむら）雅彦
連絡先	担当者：三村 雅彦 電話番号：090 - 6713 - 4467 Email：mitumura@saishinit.com
会員数	5名（R3年5月現在）
入会条件 会費等	<ul style="list-style-type: none"> ・研究会の活動趣旨に賛同し、参加できる方 ・年会費：現時点では0円
活動概要	<p>1 定例会合（日時〔曜日〕・場所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 毎月第一木曜日（予定） ・場所 広島市中区袋町にあるシシンヨービル内会議室（本通電停から徒歩30秒） <p>2 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業向けにリスクマネジメントを浸透させる方策の研究 ・リスクマネジメントの一環として損害保険の活用方法を研究 <p>3. 2021年度の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業向けにリスク啓発のセミナーを開催したい。 <p>4. 特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島の診断士だけでなく、損害保険会社のOBや東京協会傘下にある研究会とも連携して、所期の目標を達成していく。
入会を希望される皆様へ	<ul style="list-style-type: none"> ・三村までご一報ください。 ・リスクマネジメントやBCPそのものを研究していくことよりも、広島の中企業にリスクマネジメントをどうやって浸透させていくかを研究し、実際に動くことに主眼をおいています。

令和3年6月発行

発行者 一般社団法人広島県中小企業診断協会

編集人 グループ研究委員会

連絡先 〒730-0052
広島市中区千田町3丁目7番47号
広島県情報プラザ3階
TEL (082) 569-7338
FAX (082) 569-7336
E-mail : jsmeca34@sunny.ocn.ne.jp